

2026年6月7日
株式会社ホンダカーズ東海

新型EVなど実車7台が大学キャンパスに集結 岐阜聖徳学園大学の「キャリアデザインⅡ」にて特別授業を開催

株式会社ホンダカーズ東海（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：高橋一穂）は、産学連携プログラムの一環として協力している岐阜聖徳学園大学（学長：観山正見）経済情報学部「キャリアデザインⅡ」において、実車7台を学内に展示した特別な体験型授業を開催いたしました。

本プログラムは、学生に企業経営に関する実践的な知識を学んでもらうとともに、自由な発想や専門的な研究成果を社会実装につなげ、地域経済の活性化を目指す取り組みです。

なお、本取り組みの様子は、2026年6月6日付の岐阜新聞（朝刊）に掲載されました。詳細は2ページ目をご覧ください。

記

1. 日 時 2026年6月4日 3限目・4限目
2. 場 所 岐阜聖徳学園大学 岐阜キャンパス（岐阜県岐阜市中鶉1丁目38）
3. 対 象 経済情報学部 「キャリアデザインⅡ」履修学生（約60名）
4. 内 容 最新のスポーツハイブリッドや純ガソリン仕様のピュアスポーツ、新型EVから福祉車両まで、バラエティ豊かなカテゴリの「ホンダ車」計7台の実車を岐阜キャンパス内に展示し、学生たちが最新技術に直接触れる機会を設けました。さらに、災害時にも役立つ外部給電器のデモンストレーションや、福祉車両を用いた車いすでの乗車体験も実施いたしました。



メディア掲載実績のご報告

本取り組み（岐阜聖徳学園大学における体験型授業）について、下記の通り新聞メディアにてご紹介いただきました。

【掲載概要】

媒体名： 岐阜新聞

掲載日： 2026年6月6日（土）付 朝刊 014ページ

見出し：「 大学にホンダ車ずらり 岐聖大で展示、エンジン音体感 学生「車離れ」解決へ考える 」

令和8年(2026年)6月6日（土曜日）岐阜新聞 朝刊 014ページ

大学にホンダ車ずらり



岐聖大で展示、エンジン音体感

学生「車離れ」解決へ考える

岐阜市中野の岐阜聖徳学園大岐阜キャンパスで、同大経済情報学部授業の一環として、ホンダカーズ東海（名古屋）による自動車の展示と体験会が開かれた。

◆ 企業が事業を行う上での課題を知り、解決策を考えることで、学生自身のキャリア構築に生かすことを目的に、同学部の3年を対象に毎年さまざまな企業と授業を行っている。今年も60人が受講し、「若者の車離れへの対応」をテーマに同社が県内で展開するカーシェアリング事業について取り組む。学生は7月に、考えた解決手法を同社へ提案する。

ホンダカーズ東海の社員から販売している車の説明を受ける学生たち。岐阜市中野、岐阜聖徳学園大

展示と体験会は、課題解決に取り組むに当たって同社の扱う車をよく知ってもらおうと行われた。会場には同社が販売する7車種が用意され、学生は同社社員の説明を受けながら、車椅子に乗ったまま乗降できる福祉車両や、スポーツカーのエンジン音などを体験した。

参加した神谷唯枝さん（21）は「営業の仕事に興味があり受講した。短い時間でも情報の伝わる営業スキルを体験できた」と話した。

<本リリースに関連する取り組みが貢献するSDGs>

4 質の高い教育をみんなに



< 本リリースに関するお問い合わせ先 >

株式会社ホンダカーズ東海 経営企画室 水口 TEL 052-837-3004